

# 土木工事安全施工技術指針の主な改定内容

- 工事の安全施工に関する各種基準の改定を踏まえ指針を改定
- シールドトンネル工事の安全・安心な施工に関するガイドライン策定を踏まえ、現行本文の必要な箇所について改定

## 土木工事安全施工技術指針

- 国土交通省で行う一般的な工事の安全施工の技術指針
- 「労働安全衛生法」「労働基準法」「労働安全衛生規則」「建設工事公衆災害防止対策要綱」「火薬類取締法」「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」等を参考に、国土交通省所管工事に適用できるように作成
- 工事の設計、施工、監督にあたっての安全施工に向けた参考活用を目的

## 改定内容(抜粋)

- 「シールドトンネル工事の安全・安心な施工に関するガイドライン」(令和3年12月シールドトンネル施工技術検討会)策定に伴う改定
- 第16章 シールドトンネル・推進工事 第4節 シールドトンネル工事  
**3. 泥水・添加材の調整と管理**  
地盤の状態に応じ、泥水式シールドでは泥水の比重及び粘性等について所定の品質を確保すること。また、泥土圧シールドでは、適切な添加材を混合攪拌して所定の塑性流動性と止水性を満足するようにすること。(追記)

## 改定内容(抜粋)

### 4. 切羽圧力の管理

切羽圧力は切羽の安定が保たれるように管理し、切羽圧力等に急激な変動があった場合は、直ちにその原因を究明し、適切に対応すること。なお、大断面のシールドにおいては、チャンバー内圧力の鉛直方向の勾配や直線性にも留意すること。(追記)

### 5. 排出量管理

掘進時の土砂の取込み量の管理を適切に行い、過剰な取込みや取込み不足を防止すること。排土量管理においては、精度の維持・向上に取組み、異常の兆候等の早期把握に努めること。なお、大断面のシールドにおいては、管理基準値の設定や対応について慎重に検討すること。(追記)

#### 1 4. 掘進停止時の対応

切羽の不安定化のおそれがある長時間の掘進停止は、セグメント組立、休工、段取り替え、夜間の掘進制限等やむを得ない場合を除きこれを極力回避すること。また、停止する場合には、掘進再開時も含め、切羽の安定を図ること。なお、掘進停止及び再開時には、継続的な掘進時よりも慎重に排土量を管理すること。(追記)

#### 1 6. 異常の兆候の早期感知と迅速な対応

異常の兆候が確認された場合には、その解消に努め、兆候が継続する場合は、要因を明らかにして対策を検討し講じること。情報共有等の対応をあらかじめルール化して関係者間で共有しておくこと。想定外の事象が発生した場合は、関係者が連携して臨機に対応すること。重大なトラブルが発生した場合に、直ちにシールドを停止し応急対策を実施すること。(追記)